1 電気設備工事　特記仕様書

工事名称

工事場所

工事期間　自 平成 9年 月 日 ～ 至 平成 年 月 日

建築概要　敷地面積　000,000.000
用途指定　工業専用地域
防火指定　＊＊＊＊＊＊

床面積	センタ・ビル S造	その他 S造	既設厚生棟 RC造	既設研究棟 RC造	合計
建築面積	1,659.730		0,000.000	0,000.000	0,000.000
地階	738.600				
1階	1,276.640		0,000.000	0,000.000	
2階	1,382.720		0,000.000		
3階	955.390				
4階	766.430				
5階	766.430				
6階	766.430				
7階	699.230				
8階	183.710				
延床面積	7,535.580	000.000	0,000.000	000.000	0,000.000

工事項目

0．高圧引込工事－別途工事
　既設高圧配電盤の二次側以降、地中管路を経て新設屋内キュービクル形受変電設備の高圧受電盤に至る配管配線工事を行なう。
　（接地工事および建物内の空配管，ケーブル・ラック布設工事は、本項目に含む）

1．受変電設備工事
　新設キュービクル受変電設備の製作，据付工事，試験，調整工事を行なう。

2．低圧幹線設備工事
　新設キュービクル低圧配電盤の二次側以降、動力盤，照明盤，コンセント盤等に至る電源用，接地用配管配線工事および各盤の製作、取付工事を行なう。

3．動力配線工事
　動力盤の２次側以降、各動力機器に至る配管配線工事、操作、警報配線工事および中央監視盤の製作、取付、試験調整工事を行なう。

4．照明コンセント設備工事
　照明，コンセント分電盤の二次側以降、照明器具、配線器具に至る配管配線工事および配線器具の取付工事を行なう。
　（発電機回路，非常照明，誘導灯器具の配管配線工事は、本項目に含む）

5．照明器具取付工事
　照明器具（非常照明器具，誘導灯器具を含む）の製作、取付工事を行なう。

6．情報設備工事
　（1）電話配管配線設備工事　電話引込用空配管工事および電話機器の設置以降、各階情報端子盤を経て、各電話受口に至る配管，配線工事を行なう。
　（各階情報端子盤の製作、取付は本項目に含む）

　（2）放　　送　設備工事　新設アンプの設置以降、情報端子盤を経て、各スピーカに至る配管配線工事および機器取付，試験調整工事を行なう。

　（3）電気　時計　設備工事　新設親時計の設置以降、情報端子盤を経て、各子時計に至る配管配線工事および機器取付，試験、調整工事を行なう。

　（4）コンピュータ配線工事　情報機器室以降、各階情報端子盤を経て、ＯＡ用アウトレットボックスに至る配管配線工事を行う。

　（5）テレビ共聴　設備工事　共聴アンテナの設置以降、情報端子盤を経て、各各直列ユニットに至る配管配線工事および機器取付工事、試験調整工事を行なう。

　（6）セキュリティ配管工事　機械警備盤の設置以降、各階情報端子盤を経て、各警備用センサ等に至る配管配線工事，機器取付、試験，調整工事を行なう。

7．防災設備工事
　（1）自火報防排煙設備工事　複合盤の設置以降、各階総合盤を経て、感知器等に至る配管配線工事および機器の製作，取付工事試験調整工事を行なう。

　（2）避　雷　針　設備工事　ＪＩＳ　Ａ－４２０１に基づく避雷針設備の新設工事を行なう。

　（3）自家用発電機設備工事　非常用発電機の製作、据付、試験調整工事を行う。

8．その他工事
　（1）太陽光集光　設備工事　集光装置の設置以降、射出部に至る光ケーブルの布設工事および試験調整を行う。

　（2）太陽光発電　設備工事　太陽電池の設置以降、制御装置を経て、吹抜部池水中照明調光盤に至る配管配線工事および機器の製作、据付、試験調整を行う。

【注記】1．工事用電力、水道、ガス等は、本工事に含む。（ただし別途建築工事とする）
2．現場事務所、作業場、資材置場等の設置場所は、構内に無償提供する。
3．切替工事等を行う場合には、必ず係員に事前了承を得て、係員の立会いのうえ施行する。
4．工事中、不可抗力による既設品等の破損等については、係員と別途協議をする。
5．既設品で、再使用可能なものは、すべて流用するものとする。
6．本工事施行に関して、必要個所は工事着工前に事前調査を行い、施行図を作成して、係員の承認を得た後着工するものとする。
7．受電後、引き渡しまでの試運転電力料金は、本工事に含む。

一般事項

［ 1］施行基準
　本工事は設計図によるほか、日本建築家協会編『建築設備工事共通仕様書』、電気設備技術基準、消防法、建築基準法、条例等の諸官公庁社規定に基づき並びに係員の指示により適正確実に施工するものとする。

［ 2］諸手続き
　本工事に要する関係官公庁社への申請手続き関係書類の作成は遅滞なく行うこと。又これに必要な費用はすべて請負者の負担とする。

［ 3］施行詳細
　本工事は、特記仕様書並びに添付図面に示す範囲において、明記なき部分でも技術上、施行上、本工事完成上、当然必要と認められる工事は係員の指示に従い異議なく施行すること。又設計図は大要を示すものであり工事着工前に工事施行図を作成して、係員の承認を得たあと施行する。

［ 4］使用材料
　本工事に使用する諸材料並びに製作品は、諸取締規則、ＪＩＳ規格のあるものは各々の規格に合格した品質優良な新品とし、見本品又は製作詳細図を提出し係員の承認を受けたあと正式に発注する。

［ 5］工事監理
　請負者は、本工事に関する下記の監理を行うこと。
　（a）労働基準法、労働安全衛生規則、その他関連法規に従い工事場の監理を行い工事場内の労働者、その他の出入りの監督、風紀衛生の確保およびその他の事故防止についても十分な注意と処置を行う。
　（b）工事場内においては、常に諸機械その他の整理および場内の清掃を行う。

［ 6］完成引き渡し
　（a）工事完成のうえは、全設備の試験および検査を受け官公庁社の基準に合格するとともに許可書、検査証および試験結果表を添えて引渡しを行うこと。
　（b）各種機器には、その製造社名、製造年月日、機器製造番号等の標示を設け、別にその機器の使用方法、注意事項等の取り扱い説明書を提出する。

［ 7］工事保証
　本工事請負者は、工事完成後でも工事の不完全、納入品の欠陥等に起因する故障等については、一年間保証の責に任じ、無償にて修理又は良品と取り替えるものとする。

［ 8］竣工に伴う提出物（●印を適用する。）
- ●1．竣工図面　部
- ●2．工事記録写真　部
- ●3．各機器の製品保証書、完成図（承認図）、試験結果成績表　部
- ●4．機器取り扱い説明書、カタログ　部
- ●5．使用材料の一覧表（製造業者名、代理店名　記入）　部
- ●6．接地抵抗、絶縁抵抗、高低圧盤測定結果表　部
- ●7．テレビ電界強度測定結果表　部
- ●8．官公庁社に申請を要した事項の認可証　部
- ●9．備品目録（消耗品は５％以上を納品すること。）　部

特記事項

- ●［ 1］スイッチ・コンセントは埋込連用型とし、スイッチは波動型、コンセントの２ヶ口は、一体連用型を使用する。
- ●［ 2］照明器具は、吊りボール等を使用して取り付け、天井に負担のかからないように施行する。
- ●［ 3］プレート類は全て新金属プレートを使用する。
- ●［ 4］空配管には、１．２　ビニール被覆鉄線を挿入する。
- ●［ 5］既設撤去品は、係員の指示に従い請負者が責任をもって処分する。
- ●［ 6］本工事に使用する電線管のうち、特記のないものは薄鋼電線管を使用する。
- ●［ 7］電線管工事に際し、ネジ切り箇所およびベンダ使用箇所には、防錆塗装を行い、管とボックス類との接続箇所には、必ずアースボンド等により電気的に接続を行う。
- ●［ 8］盤類は全て鋼板製メラミン焼付けとし盤厚は１．６　，２．３　とする。
- ●［ 9］露出部分には指定色２回塗装を行う。
- ●［10］防火区画貫通部は、建築基準法令１１２条に基づき施行する。
- ●［11］エキスパンション・ジョイント部又は電動機等への接続部にはプリカ・チューブ又はフレキシブル・チューブを用いる。
- ●［12］耐震措置を考慮するものは、建築設備の耐震設計・施行指針により施行する。

工事区分

番号	項目	電気	建築	空調	衛生	別途	備考
1	天井，壁，床の点検口		○				
2	天井埋込器具の天井開口および補強		○				
3	アクセス・フロァ工事		○				
4							
5	天井扉，換気扇の製作、取付			○			
6	同上用電源、操作配管配線	○					
7	空調　室外機への電源工事	○					
8	空調　室内機への電源工事	○					
9	空調　室内機～コントローラ配管配線			○			
10	空調　室内機～室外機　渡り配線			○			
11							
12	エレベータ盤への電源工事	○					
13	電動シャッタ，電動ドァへの電源工事	○					
14	同上操作用配管配線		○				
15							
16	電動カーテン，ロールスクリーン電源工事	○					
17	同上操作配管配線	○					
18							
19	キュービクル，発電機コンクリート基礎	○					
20	ＴＶアンテナ，避雷針コンクリート基礎		○				
21							
22							
23	コンピュータ機器の新設，移設，撤去工事					○	
24	電話機器の新設工事	○					
25	電話機器の移設，撤去工事					○	
26							
27	電気給湯器の設置				○		
28	電気給湯器の電源工事	○					
29							
30							
31							
32	テレビ電波障害電解強度測定					○	
33	テレビ電波障害補償工事					○	
34							
35							

2 指定製造業者一覧表

指定製造業者一覧表【各項目に●印を付けたものを適用する。】

材料・機器	製造業者名			
● 電線・ケーブル	●住友電気工業	●古河電気工業	昭和電線電纜	日立電線
	三菱電線	タツタ電線	藤倉電線	●矢崎電線
● 鋼製電線管及び付属品	摂陽工業	●日本パイプ製造	●松下電工	日亜金属
	東芝鋼管			
● 硬質塩化ビニール管	三菱樹脂	積水化学	久保田鉄工	
● 波付き硬質ポリエチレン管	古河電気工業	東拓工業	日立電線	
● 高低圧盤及びキュービクル	内外電機製作所	日本電機産業	大日製作所	三星電機製作所
	川崎電気	大同電機製作所		
	大阪変圧器	松下電器産業	日満電気	
● 低圧盤	高低圧盤及びキュービクル・メーカの他　松下電工，テンパール工業			
● 遮断器・開閉器	●三菱電機	日立製作所	東芝	●富士電機製造
	戸上電機製作所	高松電気		
● 変圧器	大阪変圧器	●三菱電機	東芝	日立製作所
	松下電器産業	●富士電機製造		
● 進相コンデンサ	●日本コンデンサ工業	三菱電機	松下電器産業	東芝
	●日新電機	指月電機製作所		
● 電磁開閉器	●富士電機製造	戸上電機製作所	●三菱電機	日立製作所
	松下電工			
● 配線用遮断器	●三菱電機	寺崎電気産業	松下電器産業	松下電工
	日立製作所	東芝	●富士電機製造	
○ 蓄電池及び充電器	日本電池	古河電池	湯浅電池	松下電器産業
	新神戸電機			
● 発電機	三菱電機	神鋼電機	東芝	明電舎
	富士電機製造	安川電機製作所		
● 発電機用エンジン	●三菱重工	ダイハツ	川崎重工	神鋼造機
	●ヤンマー	●新潟鉄工		
● 配線器具	●松下電工	東芝電材	神保電器	明工社
	●三菱電機			
● 照明器具	●三菱電機	東芝電材	日立製作所	松下電工
	岩崎電気			
● 拡声装置	ＴＯＡ	ユニペックス	日本ビクター	松下通信工業
	日本無線			
○ インターホン	アイホン	岩崎通信機	松下通信工業	ＴＯＡ
	東芝			
● テレビ共同聴視	八木アンテナ	ＤＸアンテナ	松下通信工業	マスプロ電工
	ミハル通信			
● 電気時計	服部セイコー	TIC-CITIZEN	沖電気工業	松下電工
● 電話機器	日本電気	日立製作所	沖電気工業	富士通
● ＵＰＳ電源	三菱電機	サンケン		
● 太陽光発電	三菱電機	日立製作所	東芝	
● 太陽光採光装置	ラフォーレEng.			
● セキュリティ設備	日立製作所			
● 自動火災報知防排煙，非常警報	能美防災	ホーチキ	●ニッタン	松下電工
	日本信号			
● 避雷針	●大阪避雷針	日本避雷針	大岩避雷針	

3 図面記号　凡例

適用	記号	名称	備考
●		動力操作盤　動力分電盤	盤結線図参照　：別途盤を表す。
●		電灯分電盤　電灯動力分電盤	〃
●	S	開閉器函	〃
●		警報盤	〃
○	WH	電力量計盤	
●		機械警備盤	盤は、別途工事とする。
○			
○			
○			
●	LF-nE	液面電極	LF-nE ［ｎは電極を示す。］
●	FS-n	フロート・スイッチ	FS-n　［ｎは電極を示す。］
●	M	電動機	別途建築、機械設備工事
○		遠方操作　押釦	ON (ON) OFF GL (RL) WL
○		押釦開閉器	２．２ＫＷ以下用
○			
○			
●		けい光灯　（天井付、壁付）	傍記記号は、照明器具図を参照すること。
●		〃　（非常照明器具）	〃
○		〃　（サークライン）	〃
●	○ ○	白熱灯　（天井付、壁付）	〃
●	●	〃　（非常照明器具）	〃
●		水銀灯	〃
●		誘導灯	〃
○			
●	● ●2 ●3 ●4	埋込連用スイッチ　（プレート付）	1P-5A　2P-15A　3W-15A　4W-15A
●	○	〃　パイロットランプ　（　〃　）	
●	R nL	リモコン・スイッチ　（　〃　）	nL ［ｎは回路数を示す。］
○	nL	リモコン・セレクタスイッチ　（　〃　）	〃
●	AS	自動点滅器　［・熱動式　電子式］	3A　［100Ｖ　・200Ｖ］
●		調光器	
○			
○			
●	● ●2 ●3 ●4	埋込連用コンセント　（プレート付）	2P-15A　X1／X2／X3／X4
●	E	〃	E は接地極付
●	ET	〃	ET は接地端子付
●		抜止めコンセント　（プレート付）	2P-15A　P-　A　P-　A
○		埋込みコンセント　（　〃　）	P-　A　P-　A　P-　A
●		フロァコンセント（アクセス・フロァ用）	2P-15AX2　P-　AX2　P-　AX2
○		動力コンセント	4P-15A
○			
○			
●	SS AD	電動シャッタ電源／自動ドア電源	建　築　工　事
●	F CF	換気扇／天上扇	機器空調工事
●	FV	小便器自動洗浄器用電源	機器衛生工事
○	M	洗面化粧台用電源	機器建築工事
○	K	キッチン・ユニット電源	建　築　工　事
●		コントローラ　換気扇用／ファンコイル用／空調機用	機器空調工事
●	T	温度スイッチ	
○			
○			
○			
○			
○			
○			
○			
○			
○			
●	情報	情報系統図　『凡例』参照	
●	自火報　防排煙	自火報系統図『凡例』参照	
○			
○			
●		配管経路　天井いんぺい配管　［ は空配管］	
●		〃　床いんぺい配管　［　〃　］	
●		〃　露出配管　［　〃　］	
●		〃　地中管路　又は　二重天井内ケーブル工事	
○		〃　架空線路	
○		〃　（ケーブルピット　又は　鉄板ダクト工事）	
●		〃　（レースウェイ　又は　配線ダクト工事）	
●		〃　（ケーブルラック工事）	
○			
●		配管　立ち上がり／素通し／立ち下がり	
●	PB	プルボックス　又は　ジョイントボックス	
●	HH-No MH-No	ハンドホール（ HH ）　又は　マンホール（ MH ）	
○			
●	E1 E2 E3 E3E E53 ET EP,C	接地極（第１種／２種／３種／３種（ELB））特別第３種／電話用／測定用）	
○			
●	WP MP	防水型／防湿型	
●		別途　又は　既設機器／撤去工事	
○			
○			
○			
○			

本図により施工完了
株式会社　吉村建築設計事務所
1998 10/06
施工者：戸田建設株式会社大阪支店 TEL 6531-7661
東京工業株式会社大阪南支店 TEL 06 121-1333

訂正					
1998. 10/6	竣工引き渡し				

特記事項

承認

作製 1999. 3/31　発行

検図　担当　製図

吉村建築設計事務所
1級建築士　（第105905号）吉村　建

名称　電気設備工事　特記仕様書　縮尺 ―――

図面NO. E-001